

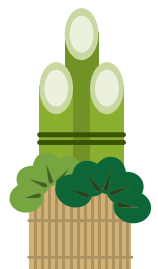
中小企業あきた

年頭所感	1
1 佐竹秋田県知事との懇談会を開催！	6
新春特別企画 ～節目を迎える組合の代表者に聞きました～ 「2014年の目標・今後の抱負について」	7
○景況レポート 11月分	10
○話題の広場	
アラカルト	16
支援団体活動レポート	16
中小企業組合等支援施策情報	17
インフォメーション	17

1
JANUARY.2014



謹んで新年の
お慶びを申し上げます



題：「里山に輝く(花名：ハス)」 撮影：桑原 功氏(協同組合秋田卸センター理事長・本会副会長)

秋田流通サービス事業協同組合

(株)出羽運輸	里見運送(有)	合資会社塩喜運送
(有)川津商事	千歳運送(有)	(有)丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送(株)	姉崎商運(株)	(株)三ウラ産業
(株)仙建	豊幸商事運輸(有)	日通横手運輸(株)
(有)藤原運送	ヨコウン(株)	大曲小型貨物自動車運送(株)
角間川運送(株)	田沢湖運送(株)	十文字運送(株)
エコー運輸(株)	湯沢運送(株)	川連運送(株)
(株)岡部興業	(有)北國急行	(株)美郷運輸

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299

リース・保険で 安心と安全をお約束



株式会社
北日本リース
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

株式会社
北日本ベストサポート
TEL.018-896-5080 FAX.018-896-5087

〒010-0967 秋田市高陽幸町8番17号岸ビル内

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 高橋 正 男
副理事長 山岡 緑三郎
" 本 多 秀 文

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161 / FAX 018(824)5685



トワニー秋田

通商産業大臣認可50産第1784号
全日本葬祭業協同組合連合会加盟

秋田県葬祭業協同組合

〒014-0001 大仙市花館字常保寺91-3
TEL 0187-86-3530 FAX 0187-86-3531
ホームページ <http://www.towany.com>

葬祭・仏壇・仏具のご用命は
組合加盟店へどうぞ

For Earth, For Life
Kubota

野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 **秋田クボタ**

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600



秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。

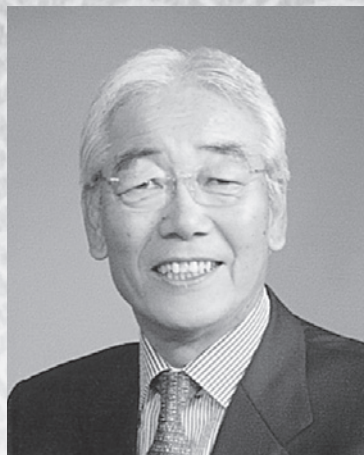
ホテルメトロポリタン秋田

〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222

<http://www.metro-akita.jp/>

年頭所感

秋田県中小企業団体中央会
会長 塩田 謙三



平成26年の年頭に当たり、会員組合及び組合員企業の皆さんに謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃から、本会の事業運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の我が国経済は、安倍政権による経済政策が「アベノミクス」という流行語を生み出すほどのブームとなり、円安効果もあって、株価の上昇や大企業の業績回復につながりました。公共投資の増加や消費マインドの好転もあり、デフレ脱却が現実味を帯びてきています。特に2020年に開催が決定した東京オリンピックは、日本全体の雰囲気を変える明るい話題でした。

本会の情報連絡員による最新の県内景況でも、16年ぶりにDI値(好転企業割合－悪化企業割合)がプラス圏に浮上するなど、本県でも明るい兆しが見え始めています。しかし、消費増税前の駆け込み需要の影響が大きいため、業種間のばらつきが大きく、本格的な景気回復の実感は薄いという声が圧倒的です。こうした中で、今秋に開催が迫った国民文化祭など、県内ではビッグイベントが今後も目白押しとのことですので、県民一体となった取り組みや「おもてなし」が求められます。

本会では、「ものづくり中小企業補助金」の秋田県地域事務局となり、中小企業が実施する試作品開発や設備投資等を支援しています。この事業では、最高1千万円までの補助が受けられますが、昨年度は県内分で101件が採択され、電子部品や繊維製品、あるいは日本酒の発酵技術を活用した新製品開発等が行われています。平成26年度も継続実施される予定ですので、本会への相談とご活用を是非検討下さい。

また、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」として、県内の経済団体としてはいち早く国から認定されており、引き続き「創業支援」や「農商工連携」等、多様化・複雑化する諸課題に対応して、中小企業組合や中小企業への支援を行ってまいります。

本県では人口が105万人を割り、今後も長期的な減少傾向に歯止めをかけることは、難しいとみられています。あえて長期的な視点から、人材づくり(特に高度なものづくり人材)を進めなければ、本当の活性化には繋がりません。今年4月に控えた消費増税の影響も心配されますが、下請け的な立場の中小企業が一方的な負担を強いられることのないよう、価格・表示カルテルの組成を図るなど、消費税の円滑な転嫁に向けて支援を強化します。

「頼られる中央会」としての使命を果たすべく、午年の本年はフットワーク軽く迅速に行動し、皆様のニーズに対応してまいります。

皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ新年のご挨拶といたします。

年頭所感

秋田県知事

佐竹敬久



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「秋田デスティネーションキャンペーン」の協賛事業等を通じて、地域の魅力発信に積極的に取り組んでいただき、厚くお礼申し上げます。お客様からの声などを踏まえながら、引き続き、“おもてなしの心”で訪れる方々をお迎えするとともに、本年十月からの「国民文化祭」に繋げていただきたいと思います。

さて、国内経済は、アベノミクス効果を背景に、景気回復に向けた期待感が高まっておりますが、一方で、海外景気の下振れなど、不安定な要因も見受けられます。

本県においては、個人消費が堅調に推移するなど、全体としては持ち直しの動きが続いておりますが、その波及効果を十分に実感できる状況までには至っておりません。

今後、景気回復に向けて力強く前進していくためには、これまでの「緊急的な対策」から「持続的な対策」を中心とした取組へ、軸足をシフトさせていく必要があると考えております。

とりわけ中小企業は、県経済において重要な役割を果たしておりますので、小さくても“芯のある強い企業”を育成するため、「秋田県中小企業振興条例(仮称)」を制定するとともに、目指す姿と施策の展開方向などを示した指針を策定し、企業の意欲的な取組をオール秋田で支えてまいります。

また、昨年は、インドネシア、台湾、タイ、ロシアを訪問いたしました。世界はもの凄い勢いでグローバル化・情報化が進んでいること、既に、各県とも積極的に海外にアプローチしていることなどを目の当たりにしてまいりました。

現在策定を進めている「第2期ふるさと秋田元気創造プラン(仮称)」においては、「付加価値と生産性の向上による県外への売り込みの強化」を基本的な視点に掲げており、「自立する秋田」「高質な田舎」を目指し、積極的に施策を展開してまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

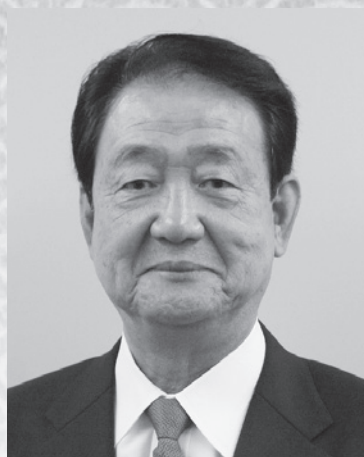
中小企業団体中央会におかれましては、業界及び地域経済の発展のため、世界も視野に入れながら、得意とする多様な連携を通じた経営革新や新事業創出などに、なお一層のご尽力を賜りますよう、ご期待申し上げます。

結びに、会員組合並びに組合員企業の皆様の益々のご活躍と中小企業団体中央会の更なる飛躍を祈念いたしまして、新年のあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 鶴田 欣也



新年、明けましておめでとうございます。

我が国経済は長く続いたデフレからの脱却をうかがう局面に入ってきましたが、中小企業は、電気料金、燃料・原材料等の高騰に伴うコスト増により、収益状況が依然として低い水準に止まるなど景気回復の実感が伴わない厳しい状況が続いています。加えて、今年4月1日から実施される消費税率の8%への引上げにより、その影響に堪え、乗り越えられるのか先行きが見通せない経営環境にあります。

政府は、昨年9月から「経済の好循環実現に向けた政労使会議」を開催するなど物価の上昇とそれに見合う賃金上昇に向けた検討を行っています。私は、中小企業を代表して、この政労使会議に参画し、安倍総理に対して、中小企業の生産性向上に向けた設備投資や地域のインフラづくり等の促進、下請け代金の引上げ等を強く要望するとともに、中央会として、ものづくり補助金等の施策をフルに活用して、中小企業が賃上げできる経営状態になるよう全力を尽くしていく旨申し上げました。今年は、中小企業が下から上を跳ね返すような組合魂を持って果敢にリスクに挑戦する年にしていきたいと考えています。

私は、昨年の通常総会で3期目の会長職を務めることとなりました。

トップセミナーや各ブロック会長会議等における会長同志の交流は、東日本大震災の発生後、絆の力を被災地に届ける際に大いに活かされたと自負しています。間もなく震災発生から3年を迎えますが、被災地の組合と中央会の懸命な努力や山積する今後の課題への対応を思うと、全国中央会の責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。消費税率の引上げへの対応には、国内の消費動向や引上げ税率の転嫁状況を注視しつつ、価格競争力を強化するための経営支援、ものづくり補助金等を活用した生産性の向上支援、設備投資等のための税制及び金融支援など、持てる支援策をフル活用して取り組んでいく必要があります。特に、中央会は、価格交渉力が弱い納入業者が割を食うことのないよう転嫁や表示カルテルの組成を図り、消費税の円滑な転嫁を成し遂げられるよう支援してまいります。

また、昨年秋口から中小企業政策審議会小規模企業基本政策小委員会等で討議されてきた、小規模企業に焦点を当てた新たな法律が具体化します。小規模企業振興基本法(仮称)を早期に制定するとともに、必ず、小規模企業の連携・組織化支援を法文上に明確に位置づけてもらわなければなりません。小規模企業の開業率の向上には、女性が活躍している企業組合制度が効果的ですし、海外パートナーシップ等を活用した海外展開や黒字の小規模企業の増加を図っていくためには、企業間で連携していくことが効率的だと考えています。電力等エネルギーコスト、事業承継税制や個人保証等、そのほかに大切な政策課題は数多く残されていますが、1人1人の絆の力を結集して事に当たれば、必ず打開の道は拓かれるものと確信をしています。

2020年に東京において56年ぶりにオリンピック・パラリンピックが開催されます。6年後には、震災復興も完了し、組合等連携組織に集う多くの皆様とともに笑顔で「おもてなし」をしようではありませんか。

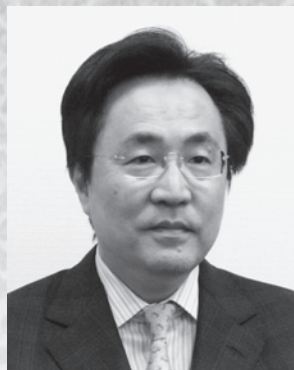
本年が皆様にとって、好機を実感できる素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭に当たってのご挨拶といたします。

平成26年 元旦

年頭所感

中小企業庁長官

北川 慎 介



平成26年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

安倍政権発足後、長引くデフレからの早期脱却と経済再生を図るため、政府は「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」を一体として強力に推進してまいりました。その結果、実質GDPが4四半期連続でプラス成長となるなど日本経済は着実に上向いております。景気回復の実感も、少しずつ中小企業・小規模事業者や地方経済に波及し始めております。この実感をより多くの皆様届けられるよう、中小企業庁としては、被災地の復旧・復興支援、小規模事業者に焦点を当てた施策展開、日本再興戦略で掲げた目標を達成するための新たなチャレンジの応援、消費税率の引上げへの万全の対応、きめ細やかな資金繰り支援の5つの政策課題を中心に積極的に取り組んでいきます。

「被災地の復旧・復興なくして、日本の再生なし」。中小企業庁としても、まず取り組むべき課題は、被災地の1日も早い復旧・復興です。景気回復の兆しを、復興の加速へつなげていかなければなりません。特に復興が遅れている地域の中小企業等グループの施設等の復旧・整備を支援する中小企業等グループ補助金については、これまで累計で549グループ、国費で2,820億円の支援を実施してきております。着実に進んでいる産業の復興の動きを確実なものとするため、被災した中小企業・小規模事業者の復旧・復興の取組を引き続き支援してまいります。

第二に、全国の中小企業の約9割を占める小規模事業者に焦点を当てた施策展開を図ってまいります。既に、昨年の通常国会において8本の関連法案を一括で改正した「小規模企業活性化法」が成立いたしました。平成26年度当初予算案においては、日本政策金融公庫による小規模事業者向けの貸付制度である「マル経融資」の貸付上限額を1,500万円から2,000万円に拡大しております。さらに、現在、小規模事業者の振興のための「基本法」を次期通常国会に提出することを目指しております。地域における重要な経済主体である小規模事業者を施策の中心に据え、今後もより一層、小規模事業者によるニッチな顧客への販路開拓や、地域の需要に応じた新商品・新サービスの開発等を応援してまいります。また、特に小規模事業者の多い商店街に対する支援として、平成25年度補正予算案では225億円を措置しております。引き続き小規模事業者への支援に鋭意取り組んでまいります。

第三に、「日本再興戦略」で掲げた3つの目標、

- ・開業率・廃業率を米国・英国レベル(10%台)に引き上げ
- ・2020年までに黒字の中小企業・小規模事業者を倍増
- ・2013年からの5年間で新たに1万社の海外展開

それぞれの実現を目指し、新たなチャレンジを行う中小企業・小規模事業者を応援します。具体的には、秋の税制改正大綱で、中小企業投資促進税制の拡充・延長など大胆な減税措置を決定するとともに、平成25年度補正予算案では、「ものづくり補助金」について、1,400億円を措置し、対象をものづくり分野に加え商業・サービス分野まで拡大いたしました。また、昨年の臨時国会で成立させた産業競争力強化法に基づき、意欲ある市区町村による創業支援体制の構築を支援していくなど、今後も引き続き中小企業・小規模事業者の思い切った事業展開を支援してまいります。これにより、中小企業・小規模事業者が収益を上げ、その収益の増加が従業員の賃金の増加や所得の拡大につながり、これが消費の拡大を生む、という「経済の好循環」を実現していきます。

第四に、本年4月の消費税率引上げに向け、中小企業・小規模事業者が不当な不利益を被ることのないよう、万全の対応をとってまいります。既に、消費税の引上げが決定された翌日の10月2日に「消費税転嫁対策室」を設置し、新たに配置した474名の転嫁対策調査官の下、転嫁拒否行為等の監視・取締りを行っております。また、中小企業関係団体とも連携し、事業者からの相談に対応する窓口を整備しているとともに、専門家による出張相談も行き、引き続き積極的に広報・周知を行ってまいります。

第五に、原材料・エネルギーコスト高の影響や消費税率引上げに万全を期すため、引き続き中小企業・小規模事業者の資金繰りを支援してまいります。平成25年度補正予算案においても、セーフティネット貸付の拡充や借換保証の推進を図ることに加え、老朽化した設備の更新や、給与支払い総額の引上げ等の実現に取り組む中小企業・小規模事業者に対して政府系金融機関の金利を減免し、地域における「経済の好循環」を後押しします。また、経営者個人の保証に依存してきた従来の融資慣行を改める画期的な内容を盛り込んだ「経営者保証に関するガイドライン」の運用が本年2月に開始されることになりました。これに伴い、利用を希望される方に専門家を派遣する体制を整え、支援を行ってまいります。

こうした取組を通して、景気回復の実感を全国津々浦々、地域経済を担う中小企業・小規模事業者に行き届かせてまいります。

最後に、本年が中小企業・小規模事業者の皆様にとって大きな飛躍の年となるよう祈念し、私からの新年の御挨拶とさせていただきます。

平成26年 元旦

年頭所感

株式会社商工組合中央金庫

秋田支店長 辻 憲 一



平成26年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに年頭のご挨拶を申し上げます。

まず、昨年の経済を振り返りますと、わが国の景気は政府の経済政策への期待から年初より円安・株高が進行し、消費者マインドの改善や大型補正予算の効果により、個人消費や公共投資を中心に持ち直しの動きとなりました。その後は、日本銀行の金融緩和を受けた円安効果や海外経済の回復により輸出環境が改善したことから、企業の生産活動も次第に活発化しました。当金庫の「中小企業月次景況観測」によると、個人消費の盛り上がりや復興投資に牽引されて中小企業の景況感は持ち直しつつあり、10月の景況判断指数は好転・悪化の境目となる50を6年7ヵ月ぶりに上回りました。ただし、仕入価格の上昇を販売価格へ転嫁が進まない中小企業も多く、先行きに対する不透明感が残っております。

このような環境のもと、商工中金は、東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さまや、デフレ不況等の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さまに対し、危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組みました。平成23年5月より取扱いを開始した東日本大震災復興特別貸付については、3万7千件、2兆1千億円を超え、これらを合わせた危機対応業務全体の累計実績は制度開始以降、15万1千件、9兆円を超える規模となりました。こうした、中小企業の皆さまの資金繰りや経営の安定化へのサポートを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に大きく貢献することができました。また、中小企業の皆さまの企業価値向上に向けては、昨年4月に事業規模を新たに1兆円追加するなど支援内容を拡充・発展させた成長・創業支援プログラムを活用し、全力でサポートしてまいりました。

商工中金としましては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、危機対応業務を中心にセーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、経営改善はもとより、新たな成長に向けた設備計画へのサポート等、お取引先の皆さまが抱える経営課題、設備投資の取り組みに対し、質の高いソリューションを提供するなど、皆さまとともに成長してまいりたいと思います。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜われますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

12月9日(月)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、「佐竹秋田県知事と本会役員との懇談会」を開催しました。懇談会には秋田県から佐竹敬久知事、関根浩一産業労働部長が、また、本会からは塩田謙三会長をはじめ、副会長以下理事9名が出席し、各種施策や中小企業連携組織対策予算等について要望したほか、意見交換を行いました。



【挨拶する塩田会長(右)と藤澤副会長(左)】



【懇談会の様子】



【佐竹秋田県知事】

開会にあたり塩田会長は、「国民文化祭など全国規模の大型イベントを控えて、観光誘客や県産品の消費拡大等、県民の間にも期待感が広がっている。中央会としては、ものづくり補助金秋田県地域事務局や経営革新等支援機関として、本県経済の活性化や成長のため、今後も全力でがんばりたい。」と挨拶し、次の3項目について要望しました。

【塩田会長からの要望事項】

- 1 インフラ整備について
- 2 ものづくり人材の産学官連携による育成強化について
- 3 商工団体組織活動強化費補助金の確保・強化について

佐竹知事は、ものづくりを支える人材の育成に関連して、風力及び太陽光等の再生可能エネルギー設備のメンテナンスができる人材育成の方針を明らかにしたほか、インフラ整備については、「秋田新幹線の高規格化は予算規模から難しいが、高速道路の整備に一定のメドがついたので、今後は県北と県南を直接結ぶ一般道路の高規格化が必要になってくる。」と述べるなど、塩田会長の要望に関する県の対応状況について説明しました。

引き続き懇談が行われ、県内中小企業の声として、各理事から次の意見が出されました。

【本会理事からの主な意見】

- 1 中小企業振興条例による企業支援について
 - (1) 補助事業の要件緩和等について
 - (2) 食品加工業界への販売促進について
 - (3) 卸団地への支援について
- 2 商店街への来街者の安全確保について
- 3 イオンの秋田市大型店舗の出店活動について
- 4 エネルギーの県内需給率の向上について
- 5 官公需について
 - (1) 県発注工事における発注時期の平準化及び適正価格による発注について
 - (2) 物品購入、印刷物等の最低制限価格制度の導入拡大について
- 6 県産品ブランドの保護について

この他、奥羽本線の寝台特急「あけぼの」の廃止や羽越本線の運休対策等、様々なテーマでの意見が出されたのに対し、佐竹知事は一つひとつの質問に意見を述べるなど、大変有意義な懇談会となりました。

新春特別企画 ～節目を迎える組合の代表者に聞きました～ 「2014年の目標・今後の抱負について」



秋田県農業機械商業協同組合 理事長 白石 光弘氏

○組合の50年を振り返って

当組合は、農業機械の販売業者が金融事業等を行う目的で昭和39年に設立されました。組合員のほとんどは小規模事業者ですが、大手の販売会社4社も加入しています。常に組合員企業の日線で物事を考え、何か困ったことがあれば解決のお手伝いができる組合であることを心がけてきました。

○2014年の目標

今年の目標は「顧客中心」です。業界で生き残るためには、顧客満足度の向上とリピーターの増加が重要です。そのため、人と人とのつながりを大事にしていきたいと思っており、常に組合員企業に言い聞かせています。

○今後の抱負

政府が5年後に減反政策を廃止する方針を決めたことにより、農家は戸惑っています。今後は、単に農機を販売するだけでなく、農家の悩みを解決できるような人材を育成していきたいと思っています。

○消費税増税を控えた景気の見通しについて

消費税の増税分を価格に転嫁すれば、どうしても割高になり、売上は減少すると思いますが、これまで以上に安全で安価な機械の開発・販売に業界として真剣に取り組んでいきたいと思っています。

【組合の概要】 所在地：〒010-0951 秋田市山王三丁目1-22
電話：018-862-4972 FAX：018-862-4997
設立：昭和39年12月 組合員数：35名



秋田中央遊技業協同組合 理事長 新井 弘泰氏

○組合の50年を振り返って

当組合は、遊技機や景品等の共同購入を行うために昭和39年に設立されました。現在行っている主な事業は、社会貢献事業や防犯協会と連携した教育情報事業などです。近年は、警察や行政と連携した防犯活動も行っており、組合員から見ると、組合は犯罪防止対策の窓口としての役割を果たしています。

○2014年の目標

今年の目標は、「コンセプトの確立」です。今やろうとしていることを再確認するためにも、組合の明確なコンセプトを確立することが肝心です。目的意識を持って、組合事業の方向性を定め、活動内容を濃くしていきたいと思っています。

○今後の抱負

当組合の組合員は、組合事業への参加率が非常に高く、まとまりがあります。その利点を活かして、今後は、経費削減等で組合のスリム化を図りながら、母子生活支援施設への慰問や献血活動等の社会貢献活動の幅を広げていきたいと考えています。

○消費税増税を控えた景気の見通しについて

娯楽・レジャー産業であるという特性上、消費税増税後すぐに直接的な影響を受けることはないとみられますが、それによって景気が悪化すれば、娯楽にお金が回らず、売上は減少すると思います。

増税直後の4月～6月の3か月間の動向を注視して、乗りきっていきたいです。

【組合の概要】 所在地：所在地：〒010-0851 秋田市手形字西谷地175-2
電話：018-832-9825 FAX：018-832-9825
設立：昭和39年3月 組合員数：14名

新春特別企画 ～節目を迎える組合の代表者に聞きました～ 「2014年の目標・今後の抱負について」



秋田県木材産業協同組合連合会 理事長 菊地 成一氏

○組合の40年を振り返って

当連合会は、全県における木材産業の近代化・合理化を図り、会員である単協の組合活動の活発化と充実を図る目的で、昭和49年に設立されました。木材は、ピーク時には秋田県の工業出荷額の半分以上を占めていましたが、最近では5%になるなど、木材産業の衰退に伴い、単協が弱体化しているため、当連合会が先頭に立ってアクションを起こしています。

○2014年の目標

今年の目標は「積極一貫」です。消費税増税による影響など、心配事は尽きませんが、木材の利点をアピールし、終始一貫して、積極的な事業展開をしていきたいと思っております。

○今後の抱負

秋田県はスギの蓄積量が日本一であり、生産量や供給量でも日本一に結びつけられるかが課題となっています。その課題を克服するためにも、県から支援を受けて稼働している大規模製材工場を活用し、支援いただいた結果を形にして、恩返しする年にしたいと思っています。

○消費税増税を控えた景気の見通しについて

消費税増税による影響はまず住宅のような耐久消費財など高額な商品に及びます。そのため、需要の落ち込みはすでに想定しています。その落ち込みをカバーするため、積極的な営業活動により仕事を獲得していかなければならないと思っております。

【組合の概要】 所在地：〒010-0003 秋田市東通二丁目7番35号
電話：018-837-8091 FAX：018-837-8093
設立：昭和49年5月 組合員数：19名



秋田県中央トラック事業協同組合 理事長 嶋田 康子氏

○組合の40年を振り返って

当組合は、組合員の経営効率化を目的に昭和49年に設立されました。主な事業は燃料の共同購入やETCカード共同精算などです。土地等の資産を持たないようにするなど、経費をかけない運営を心がけてきました。このような経緯から、組合員に賦課金を課していませんが、昨年度は初めて、組合員への事業利用分量配当を行うことができました。

○2014年の目標

今年の目標は、「心機一転」です。40年の節目の年にあたることと、事務所の移転を控えていることから、この言葉を選びました。

○今後の抱負

現在、主要事業として行っている燃料の共同購入やETCカード共同精算に加えて、新規の共同事業ができないうかが検討しています。新規事業の実施により、収益の増加を図っていきたくと思っています。

○消費税増税を控えた景気の見通しについて

アベノミクスで景気が上昇していると言われてはいますが、本県においては、「景気上昇」や「賃金上昇」はほとんどないと思っております。4月の消費税増税によって、消費者の購入意欲は減少し、TPPの行方によっては本県の農業のあり方も大きく変わる可能性があり、しばらくは景気が低迷するものとみています。

【組合の概要】 所在地：〒011-0911 秋田市飯島字穀丁大谷地1番地6
電話：018-857-0180 FAX：018-846-9693
設立：昭和49年12月 組合員数：17名

新春特別企画 ～節目を迎える組合の代表者に聞きました～ 「2014年の目標・今後の抱負について」



秋田電気工事協同組合 理事長 布谷 博氏

○組合の40年を振り返って

当組合は、電気工事業者の地位向上と経営の合理化及び近代化を目的に昭和49年に設立され、平成7年には、組合100%出資の引込線工事専門の秋田協同電気株式会社を設立するなど、幅広く事業を展開してきました。また、平成24年度には、秋田市と契約を結び、市内防犯灯28,500灯のLED化事業を受注するなど、全国的にも珍しい取り組みを行っています。40周年の節目を迎え、2月には記念式典を開催する予定です。

○2014年の目標

今年の目標は「信頼と勇気」です。これは、今年発行予定の当組合40周年記念誌のテーマでもありますが、組合員企業においては、お客様からの「信頼」と物事を行う時の「勇気」が必要不可欠であると思っています。

○今後の抱負

今後、共同受注事業を推進していくためには、国が推奨している官公需適格組合証明の取得が不可欠であり、取得後は、その証明を基に継続的な事業の拡大を目指していきたいと思っています。

○消費税増税を控えた景気の見通しについて

消費税増税前の駆け込み需要により、設備投資は順調に推移しておりますが、宮城県や岩手県では震災復興需要が続いているため、4月以降も、急激に減少することはないと思います。

【組合の概要】 所在地：〒010-0802 秋田市外旭川字三千刈144-1
電話：018-862-0350 FAX：018-862-0792
設立：昭和49年3月 組合員数：176名



秋田県自動車整備商工組合 理事長 千葉 倉男氏

○組合の40年を振り返って

当組合は、県内の自動車分解整備業の改善発達や組合員の人材育成を図ることを目的に昭和49年に設立されました。主な事業としては、調査研究事業や共同購買事業を行っており、一般社団法人秋田県自動車整備振興会と連携して事業を行っています。

○2014年の目標

今年の目標は「輪」です。当組合は、自動車整備業者の組合なので、車への漢字一文字としました。これには、車輪の意味の他に、組織としてまとまっていくため、組合員どうしの「輪」を大切にしたいという意味を込めています。

○今後の抱負

今後も共同購買事業において、良質な商品の提供や新技術に対応した人材育成を行うなど、組合員の利便性を高めるために努力していきたいと思っています。

○消費税増税を控えた景気の見通しについて

当業界においては、消費税増税に伴う直接的な影響はさほどないと予想しています。しかし、自動車の定期点検等を行った際には、増税分が上乗せされるため、顧客の負担は増えることになります。

この負担増の部分については、提供するサービス等を向上させ、顧客満足度を高めることにより対応していく方針です。

【組合の概要】 所在地：〒010-0962 秋田市八橋大畑二丁目12番63号
電話：018-823-6546 FAX：018-863-4603
設立：昭和49年12月 組合員数：683名

景況レポート

(11月分・情報連絡員80名)

景況DI値が16年ぶりにプラスに転じる

～消費税増税前のかげ込み需要が影響～

【概況】11月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが26.6%（前月調査23.8%）、「悪化」が25.3%（同27.5%）で、業界全体のDI値は1.3となり、前月調査と比較して5.0ポイント上回った。景況DI値は平成9年3月以来、16年ぶりのプラスとなった。

内訳として、製造業全体のDI値は-16.1で前月調査と比較して22.4ポイント下回った。非製造業全体のDI値は、12.5で前月調査と比較して22.9ポイント上回った。

消費税増税を控えて、民間投資や一般住宅建築、新車をはじめとする高額商品購入の動きが顕著となり、売上や販売単価が上昇する一方で、資材の値上がり、職人不足、工期の延長といった現象が見られる。

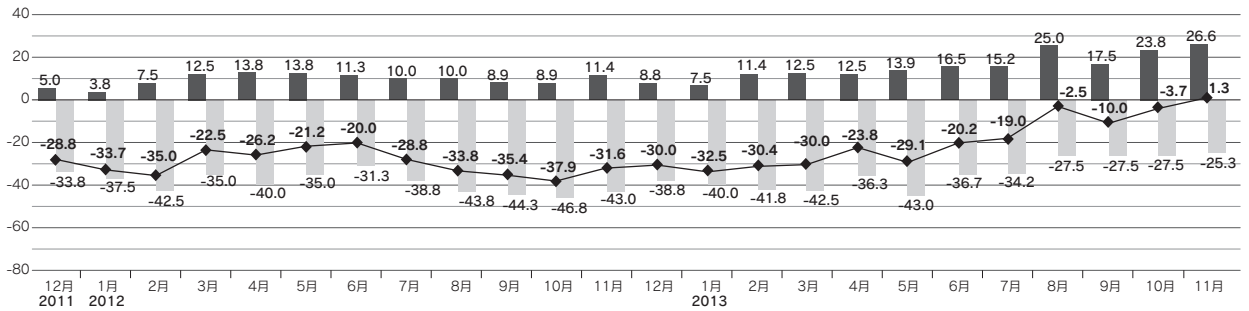
なお、原油価格の高騰や円安等により、原材料や資材、燃料の高騰で収益の確保に苦勞する声や、消費税増税後の受注減を不安視する声が聞かれ、受注が増加しても、人材、設備への投資に慎重になっている姿勢も窺える。
(回答数：79名 回答率：98.8%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	☔	☔	☁	☔	☔	☔
非製造業	☀	☀	☁	☔	☁	☁

【凡例】
 ☀ 快晴 30以上
 ☀ 晴れ 10以上 30未満
 ☁ 曇り △10以上 △30未満
 ☔ 雨 △30以上 △10未満
 ☔ 雷雨 △30未満
 【天気図の見方】
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index（ティフュージョン・インデックス）の略で、増加（好転）したとする企業割合から、減少（悪化）したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合〔前年同月比〕



業界の声

- 豆腐油揚製造** 円安の影響で原料大豆の価格がジワジワと値上がり、経営環境が劣悪になっているため、製品価格の値上げなしではやっていけない状況にある。
- ニット** 11月は例年どおりの閑散期であった。通常であれば、アパレルメーカーが春物の原材料投入を早めてくれるが、今年は遅れている。
- 木材・木製品**
 - ・構造材、造作材とも旺盛な需要があるが、材料となる原木の調達に間に合わず納期が延びる状況が続いている。なお、原木は品不足の状況が解消されず、高値となっている。
 - ・国産合板の出荷状況は引き続き好調で、在庫水準が低くなっており、特に、長尺物に不足感がある。価格面では、問屋の再販価格にブレーキ感があるものの、メーカー価格が先行き強気の予想から上昇している。また、輸入合板の荷動きも回復基調となっている。
- 鉄鋼** 各社1月頃までは手持ち工事を確保しているようだが、冬場の減少は避けられないので先行きに不安を感じている。
- 自動車販売** 11月の新車販売台数は、登録自動車が2,138台（前年同月比110.7%）、軽自動車が2,461台（同130.8%）で、合計4,599台（同120.6%）であった。今月も、軽自動車が登録車を上回った。
- 商店街** 業種によって差があるが、総体的に販売額は減少しており、前年実績確保がやっとの状況が続いている。秋田DCによる当商店街への波及効果は感じられなかった。
- 建築設計** 受注状況は上向き傾向にあるが、資材単価や労務費の上昇もあり、先が読めない状況である。
- 旅館** 施設によって業況に差があるが、秋田DCが集客アップに繋がっている。
- 管工事** 資材価格や労務費の上昇、人手不足などにより、入札の不調件数が増加している。
- 型枠工事** 本年度は消費税増税前のかげ込み需要的な民間工事があり、全体的に忙しい傾向で各地区とも単価が上昇し、経営状況が改善している。
- トラック** 貨物の種類を問わず輸送量が増加しているが、燃料価格が高止まりのため、収益は逆に悪化している。

新年のご挨拶を申し上げます

秋田県中小企業団体中央会

監		理	常	専	副
事	事	事	任	務	会
事	事	事	理	理	会
事	事	事	事	事	長

多伊千明近佐佐小山村辻佐進佐武大小伊高浅矢村白平大加仙後高藤菊桑柳塩
 賀野 賀藤藤藤嶋玉藤橋利吹岡石澤門藤花藤橋澤地原田田
 敏隆三喜隆和正 緑兼篤善政武真秀真和正 達淑光孝一憲久 清正成 謙
 四 三 一
 雄康郎美平喜明盛郎幸志美弘義人夫郎宏男滋夫郎弘夫平成彌一悦義一功聰三

秋田県南トラック事業協同組合

理事長 塩田 謙三

秋田県横手市杉沢字中杉沢592番地の3
TEL 0182(33)2561 / FAX 0182(33)1299

秋田県印刷工業組合

理事長 大門 一平

〒010-0921 秋田市大町一丁目3番8号
TEL.018-823-0413 / FAX.018-863-3851

あきたこまち 美人の里の 秋田米



秋田県主食集荷商業協同組合

理事長 柳田 聡

〒010-0001 秋田市御所野湯本三丁目1-2
TEL 018-893-3100 FAX 018-892-7166

秋田県鐵構工業協同組合

理事長 藤澤 正義

副理事長 菊池 定雄

副理事長 齋藤 靖

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-44
TEL 018(863)9222 / FAX 018(863)9995

倉庫のまち 秋田卸団地 異業種54社の集団

明日へ躍進する流通の拠点



協同組合 秋田卸センター 理事長 桑原 功

〒010-0061 秋田市卸町三丁目6番3号
TEL 018-863-1902 FAX 018-862-5398 <http://www.akitaoroshi.jp/>

新年のご挨拶を申し上げます

大地に夢を見る 人々のために



秋田県農業機械商業協同組合

理事長 白石光弘

〒010-0951 秋田市山王三丁目1番22号
☎018(862)4972 FAX 018(862)4997

ものづくりのご相談なら

秋田市工業団地協同組合

理事長 伊藤和宏
副理事長 藤澤正義
専務理事 深川雅通
理事 志渡輝夫
〃 柿崎昭雄
〃 菊地直也
事務局長 須田清子

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-44
TEL.018-823-3917/FAX.018-862-9948

車のことなら県内60社子熊のマークのお店どうぞ



JU 秋田 秋田県中古自動車販売商工組合 秋田市御所野 湯本一丁目1-1
理事長 藤原忠一郎 TEL 018(839)6311

秋田県室内装飾事業協同組合

理事長 野口久栄
副理事長 中村純也
副理事長 森健一
専務理事 佐藤輝男

〒010-0001 秋田市中通6丁目4番29号
電話 018-831-1276 FAX 018-838-1167

地域密着!! がんばる秋田の企業を応援します!



秋田県火災共済協同組合
秋田県商工共済協同組合

理事長 村岡淑郎

〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 県商工会館
TEL.018-864-3320 FAX.018-864-3335

官公需適格組合
『カデル』

秋田管工事業協同組合



理事長 高橋正男

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

電気のある暮らし
安全・安心を
守ります。



秋田県電気工事工業組合

理事長 千葉三四郎

秋田電気安全サービス

【本部】秋田市泉南1丁目1番18号
TEL.018-824-1587

【本荘支所】由利本荘市石脇字田尻野35-75
TEL.0184-22-8555

【能代支所】能代市字西大瀬23-20
TEL.0185-52-5202

秋田たばこ販売協同組合

理事長 原田啓藏

〒010-0905 秋田市保戸野中町7-2
☎018(823)5077 FAX 018(823)5078

E-mail: aki-tabakumi@acbb.net

URL <http://www.chuokai-akita.or.jp/akita-tabacco/>

資源有限 | <技術力無限

組合員加入受付中



秋田県電気管理技術者協同組合

秋電(協)会

理事長 山上憲人

〒010-0946 秋田市川尻総社町10番8号

TEL 018(863)1833

FAX 018(823)6944

e-mail/akiden01@poplar.ocn.ne.jp

新年のご挨拶を申し上げます

秋田県骨材工業組合

理事長 松田 光雄
副理事長 加賀屋 哲雄
副理事長 三浦 尚
副理事長 針金 吉勝
専務理事 越後谷 哲郎

〒010-0941 秋田市川尻町字中島212番地の1
☎018-862-8535 FAX 018-863-4564

官公需適格組合 能代山本生コンクリート協同組合

フライアッシュ生コン(JIS規格品)

理事長 佐々木 鉄美

〒016-0115 秋田県能代市字悪戸115-9
TEL(0185)58-3560
FAX(0185)58-3525

組合員 秋北生コンクリート株式会社
中友商事株式会社
能代中央生コン株式会社

秋田県自動車整備商工組合

理事長 千葉 倉男
副理事長 三浦 潔
" 沼倉 正八
" 畠山 信悦
" 齋藤 幸悦

〒010-0962 秋田市八橋大畑二丁目12番63号
TEL 018-823-6546 FAX 018-863-4603

秋田県電機商業組合

理事長 山口 道久

外役員一同

秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内5F
TEL・FAX 018-823-1635

秋田中央遊技業協同組合

理事長 新井 弘泰

秋田市手形字西谷地175の2(遊技会館)
☎・FAX 018(832)9825

総合物流サービス業

YOKOUN

ヨコウン株式会社

☎013-0072 秋田県横手市卸町8番14号 ☎0182-32-3667 Fax32-5672
<http://www.yokoun.co.jp> <http://www.facebook.com/yokoun>

鉄骨・橋梁・建築・耐震補強

千代田興業株式会社

がんばろう!東北
akita steel-rib
fabricators
association

代表取締役社長 藤澤 正義

本社・工場：秋田市川尻町字大川反170-49 TEL 018(864)6200(代)
建設事業部：秋田市川尻町字大川反170-19 TEL 018(888)3666

ヤマヨ株式会社



麺のある多様な食文化の橋渡し役

ヤマヨ株式会社

〒010-0917 秋田県秋田市泉中央1-3-56
TEL:018-863-5344 FAX:018-824-3474

気持ちのつたわるお品選びのお手伝い
引出物・陶器・漆器・金物・民芸品

真心つたわる御進物

あかし

秋田県大館市字大町74番地
電話 0186(43)3333

秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会

会長 佐賀 善美
幹事 村田 孝治
" 高寺 一
" 岩井川 功
" 嶋田 與次郎
" 鈴木 健志
監事 村上 晃一

事務局 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号
(秋田県中小企業団体中央会内)
TEL.018-863-8701/FAX.018-865-1009

新年のご挨拶を申し上げます

『信用保証』で
秋田県の中小企業を応援します。



会長 小林 憲一

本所 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号
(秋田県商工会館内)
TEL018(863)9011 FAX018(863)9188

祝 修二社会保険労務士事務所

社会保険労務士 祝 修二

特定社会保険労務士
確定拠出年金アドバイザー
ファイナンシャルプランナー

〒010-0817 秋田市泉菅野二丁目5番14号
電話 (018)866-5515
FAX (018)866-5517

ホテルメトロポリタン秋田

〒010-8530 秋田市中通7丁目2番1号
tel.018-831-2222 www.metro-akita.jp/

秋田活版印刷株式会社

代表取締役社長 畠山 紀夫

〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1
TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505

秋田ゼロックス株式会社

代表取締役会長 蒔苗 昭三郎
代表取締役社長 関 昌威

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反 170-92
Tel:018-823-4645 Fax : 018-823-7559

RICOH

リコージャパン株式会社 秋田支社

〒010-0061
秋田市卸町四丁目9-1
TEL 018-823-0111(代) FAX 018-888-1756
http://www.ricoh-japan.co.jp/

行政書士 小林 努事務所

中小企業組合士

〒010-0918 秋田市泉南二丁目 3-17
TEL・FAX 018(823)1012



coming soon!

大同衣料株式会社

秋田県大仙市角間川町字四上町 7
TEL.0187-65-2096
http://www.daidoiryo.co.jp

全国社会保険労務士会連合会運営

街角の年金相談センター 秋田(オフィス)

日本年金機構

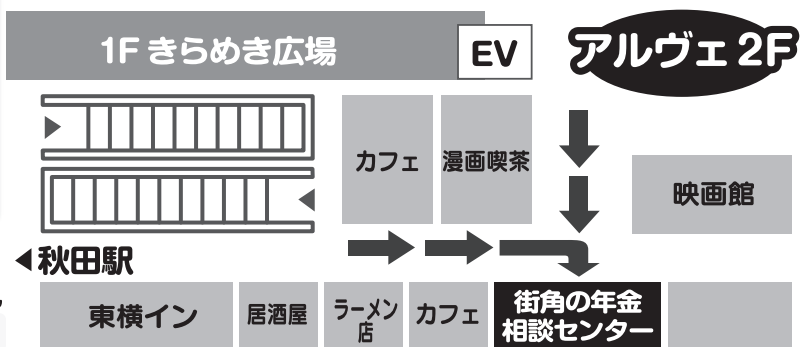
すべて無料です

国民年金・厚生年金

に関する 手続き 相談

※電話での相談は受け付けておりません

老齢・障害・遺族年金などの請求手続きもこちらでどうぞ



受付時間 月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:15 休日 土・日曜日・祝日・年末年始

アルヴェ駐車場
ご利用の相談者には 駐車券(1時間分)を差し上げます

街角の年金相談センター秋田オフィス TEL018-893-6491

秋田県社会保険労務士会

検索

http://www.akita-sr.or.jp/

新年のご挨拶を申し上げます

全国中小企業団体中央会の業務災害補償制度 経営ダブルアシストのご案内 (一般傷害保険)

保険期間：平成25年10月1日午後4時～平成26年10月1日午後4時

最大約55%割引

うつ病や過労死などによる新しい労災リスクの増加
1億円を超える高額な賠償事例が続出
パート・アルバイト、派遣社員などの非正規雇用労働者の増加

《業務災害補償制度》
新しい労災リスクに対応します。
労災リスクへの備えは、経営者の重要な責任です!

■主な特長■

●一般の加入より最大約55%割引

(団体割引30%・過去の損害率による割引30%・役員員一括契約割引5%もしくは10%)

●法律上の賠償責任や訴訟費用も補償

●契約は無記名方式。パートやアルバイトの方も自動的に補償 ※人数変更があっても報告は不要!

●保険料は売上高で算出掛金は全額損金参入可能

■オプションをセットして 業務中の天災(地震・噴火・これらによる津波等)によるケガやその使用者賠償責任も補償!

この広告は、全国中小企業団体中央会を契約者とする全国中小企業団体中央会、都道府県中小企業団体中央会の会員である団体・協同組合等に加入している会員向け一般傷害保険団体契約の概要について紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。保険の内容は経営ダブルアシストのパンフレットをご確認ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明の点がありましたら代理店または引受保険会社にお問い合わせください。ご加入を申し込まれる方と被保険者が異なる場合は、このパンフレットの内容を被保険者にご説明いただきますようお願い申し上げます。

【制度運営】全国中小企業団体中央会
【お問合せ先】秋田県中小企業団体中央会

【引受保険会社】東京海上日動火災保険株式会社
【担当課支社】秋田支社 【TEL】018-832-9229

08A1-4952-B12047-2013年7月作成

謹賀新年

お客さまを知る。地域に応える。

北都銀行
A MEMBER of FIDEA GROUP

地域共栄

秋田銀行

取締役頭取 湊屋隆夫

秋田市山王三丁目2番1号
TEL018-863-1212(代表)

傷害総合保険+労働災害総合保険
(使用者賠償責任条項)

業務災害補償制度のご案内

お見積もりは **無料** です!お気軽にお問い合わせください。

※概要のご案内となります。詳しい内容については、お問い合わせ先までご連絡ください。



特長1!

契約手続きが簡単です。
従業員の増減の通知も
医的診査・健康告知も
売上高の変動による
手続きも不要!

契約手続きが簡単!



特長2!

傷害総合保険では、
政府労災保険の
支払認定を待たずに、
スピーディーな保険金の
支払が可能です。
入院保険金・通院保険金は、
1日目から補償!

1日目から補償!



特長3!

使用者賠償責任条項では、
使用者が負担する法律上の
損害賠償責任を補償。
解決のための

費用も負担!

(弁護士報酬や争訟・和解・調停・仲裁費用など)
(※)ただし、発災ジャンプが承認したものに限りです。



特長4!

パートやアルバイトを含む
全従業員を
包括補償!

傷害総合保険ではオプションで
派遣労働者・構内請負人も
補償!



特長5!

中央会の
全国一斉募集だから
実現した
スケールメリット。

最大約 (傷害総合保険部分)
60% 割引!

(※)団体割引30%・過去の損害率による割引35%・役員員一括契約
割引10%(売上高より換算した被保険者数が20名以上の場合)
を適用した傷害総合保険部分の1名あたりの保険料割引率です。

◆傷害総合保険◆

業務上の事故によるケガをしっかりサポート

役員・従業員の方々の労務災害や通勤災害に対する補償制度として、福利厚生制度の充実にご活用いただけます。(役員は24時間補償も可能です。)

◆労働災害総合保険 (使用者賠償責任条項) ◆

企業の使用者賠償もしっかりカバー

万一の労働事故発生により、被災従業員やその遺族等より訴えられてしまった場合、争訟費用や法律上の賠償責任を負担することにより支払うべき損害賠償金は非常に高額となってしまう恐れがあります。そこで、本制度にご加入いただくことで、企業防衛の備えにご活用いただけます。

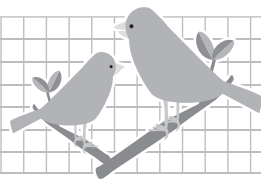
※この広告は概要を説明したものです。
ご契約手続・支払条件その他、損保ジャパンまでお問い合わせください。



株式会社 損害保険ジャパン 秋田支店 秋田支社(松田)

〒010-0921 秋田県秋田市大町 3-3-15 TEL.018-862-8425 FAX.018-865-1589
(SJ12-09115 2012/12/11)

話題の広場



アラカルト

● a la carte ●

■巨大シンデレラに変身できる写真撮影スポットが登場

～秋田ベイパラダイス協同組合～

この冬、秋田市土崎港の商業施設「秋田ベイパラダイス」に身長約6メートルの巨大なシンデレラに変身できる写真撮影スポットが登場しました。

この写真撮影スポットは、秋田ベイパラダイス協同組合（嶋田康子理事長）の集客イベント「ベイパラ輝き大作戦」の一環で設置されたもので、恋人の聖地・土崎をPRするために、物語の最後に王子と結ばれる「シンデレラ」をイメージして製作されました。

写真撮影スポットには、約5メートルのドレスを身に着けたシンデレラの顔出しパネルが設置されており、ドレスにはLEDのイルミネーションが取り付けられ、夕方から点灯されます。

この写真撮影スポットの利用は無料で、1月末まで設置されています。利用時間は午前10時～午後10時までですので、是非一度ご覧ください。



【写真撮影スポット】

■クリスマスマーケットを開催 ～小坂町商業協同組合～

11月30日（土）から12月21日（土）までの毎週土曜夜とクリスマスイブの24日（火）、小坂町の多目的ホール「天使館」（国登録有形文化財）周辺で「クリスマスマーケット」が開催され、大勢の人で賑わいました。

このイベントは、明治初期に小坂鉱山のドイツ人技師が、クリスマスの様子を日本で初めてスケッチに残したことにちなみ、「近代クリスマス発祥の地」として町を広くPRしようと、小坂町商業協同組合（浅利和彦理事長）など関係機関が協力して開催したものです。

期間中は、隣接する小坂鉱山事務所や康楽館をライトアップしたほか、屋外テントにてソーセージやホットワインの販売などが行われました。開催2週目となった12月7日（土）には、当組合が新たにトナカイやソリのイルミネーションを設置し、会場を一層幻想的な雰囲気彩りました。

当組合では、今後とも、町の活性化のための事業を積極的に展開していくこととしております。



【電飾が施された天使館】

支援団体活動レポート

会計・事務セミナーを開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

11月29日（金）、秋田市のにぎわい交流館AUにおいて、秋田県中小企業団体事務局協議会（佐藤弘幸会長）の平成25年度会計・事務セミナーが開催され、会員等24名が出席しました。

このセミナーは、事務局職員の資質向上を目的に開催され、当日は、本会職員が講師となり、中央会に寄せられる事務手続きや組合会計における問い合わせの多い内容を中心に説明を行いました。出席者からは、教育情報事業繰越金の取り扱いや会計文書保管期間等について質問が出るなど、組合事務局ならではの活発な質疑応答が行われました。

当協議会では、今後も日常業務に直結した研修を行っていく予定です。



【セミナーの様子】

商店街振興組合指導事業を開催 ～秋田県商店街振興組合連合会～

12月18日（水）、秋田市のホテルメトロポリタン秋田において、秋田県商店街振興組合連合会（平澤孝夫理事長）の商店街振興組合指導事業が開催され、会員等23名が出席しました。

今年度は、「こんな商店街にしたい～実現させるための〇〇力アップセミナー～」と題して、次世代を担うリーダーの養成と地域住民の生活の核である商店街の魅力向上を目的に全3回開催することとしており、今回が2回目の開催です。

前回、商店街のビジョンづくりの重要性について認識してもらったことを踏まえ、ワークショップ形式で「私が思い描く商店街」をテーマにグループ討論を行い、課題や問題点を互いに出し合い、今後の商店街の在り方等について考えてもらいました。講師である中小企業診断士の後閑和子氏からは「今回のセミナーで学んだ内容を各商店街へ持ち帰ってもらい、商店街のビジョンづくりに役立ててほしい。」とのアドバイスがありました。次回は、各班による発表でセミナーの総括を行います。

今後も、当連合会では、新たな商店街活動を構築する際の足掛かりとなる研修を行っていく方針です。



【グループ討論の様子】

中小企業組合等支援施策情報

■平成26年度森づくり県民提案事業の募集について(秋田県)

秋田県では、県民の共有財産である森林を将来にわたって健全に守り育てていくため、「水と緑の森づくり税」を平成20年度から導入し、県民のみなさんが参加する自由な発想による森づくり活動を応援しています。

森林の自然体験、植樹などの森づくり活動、木育活動(森林環境教育)、森づくりの講習会など、森づくりに関する活動をお考えの方はご応募ください。

○補助金額：上限40万円(補助率10 / 10以内)

○募集期限：平成26年2月10日(月)

【お問い合わせ先】 最寄りの県地域振興局農林部森づくり推進課または、あきた森づくり活動サポートセンター(愛称：モリエール) ☎018-882-5570

■中小企業・小規模事業者の資金繰り支援を強化します(経済産業省・中小企業庁)

中小企業庁は、12月に閣議決定された「好循環実現のための経済対策」及び「平成25年度補正予算案」を踏まえ、事業規模10兆円超の金融支援により中小企業・小規模事業者の方々の資金繰り対策を強化します。

(1)資金繰り支援

①日本政策金融公庫等による経営支援型等のセーフティネット貸付【貸付規模：6兆円】

②信用保証協会による借換保証【保証規模：4.5兆円】

③セーフティネット保証(5号)の平時の運用への移行

(2)設備投資等の促進

日本政策金融公庫において、老朽化設備の新陳代謝、所得増加及び創業等に対応した融資を促進します。

【貸付規模：2.9兆円】

【お問い合わせ先】 中小企業庁金融課 ☎03-3501-2876



平成26年度「均等・両立推進企業表彰」候補企業を公募します【厚生労働省】

厚生労働省では、1月1日から、平成26年度「均等・両立推進企業表彰」の候補となる企業を公募します。

この表彰は、「職場での女性の能力発揮を促進するための積極的な取り組み」(ポジティブ・アクション)及び「仕事と育児・介護との両立支援のための取り組み」(ファミリー・フレンドリー)について、他の規範となる取り組みを推進しているような企業を公募し、顕彰するものです。

○応募締め切り：平成26年3月31日(当日消印有効)

【お問い合わせ先】 秋田労働局雇用均等室 ☎018-862-6684

【新規採用職員のお知らせ】



1月1日付で職員を新規採用しました。

佐々木 貴寛(ささき たかひろ)

【事業振興部商業振興課主事補】

【本会人事異動のお知らせ】

(1月1日付) ※()は前職

○事業振興部工業振興課主事

(事業振興部商業振興課主事)

稲葉 健

新型定期預金

マイハーベスト

安心・確実に増やしたい方へ、おすすめの定期預金です。

●販売対象●

個人のお客様を対象とします。

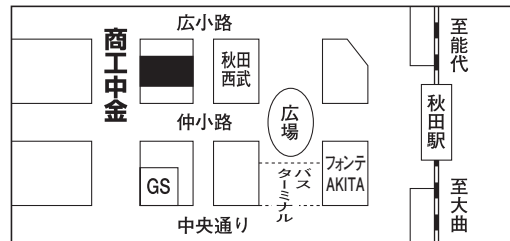
●預入方法●

- (1) 預入方法 一括してお預け入れいただきます。
- (2) 預入金額 50万円以上
- (3) 預入単位 1円単位
- (4) 預入限度額 ありません。

人を思う。未来を思う。

商工中金 秋田支店

〒010-0001 秋田市中通2-4-19 ☎018(833)8531

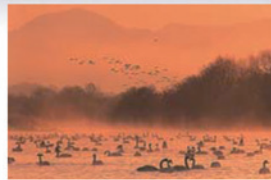


謹賀新年



秋田魁新報は2月2日
創刊140年を迎えます

いつもの朝に 郷土の新聞



秋田魁新報

本社/秋田市山王臨海町1-1 TEL018-888-1800

<http://www.sakigake.jp/>



購読申し込み専用フリーダイヤル ☎0120-13-1231

2014

1
Jan

中小企業あきた

平成26年1月1日発行 (毎月1日発行) 第644号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円